



平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トラスト・テック

コード番号 2154 URL <http://www.trust-tech.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小川毅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木憲一

TEL 03-5777-7727

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	4,009	7.9	256	111.0	266	99.7	160	110.2
25年6月期第1四半期	3,715	△4.0	121	75.8	133	94.7	76	△29.7

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 160百万円 (107.9%) 25年6月期第1四半期 77百万円 (△29.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	16.85	16.84
25年6月期第1四半期	8.02	8.01

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年6月期第1四半期	5,031		3,354		66.7
25年6月期	5,544		3,479		62.8

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 3,354百万円 25年6月期 3,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年6月期第2四半期末配当金20円00銭の内訳: 普通配当 10円00銭 記念配当 10円00銭(東証第二部市場変更記念配当)
当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,127	8.8	404	28.9	415	16.1	251	20.0	26.38
通期	17,500	17.3	1,040	44.8	1,050	30.5	630	36.8	66.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期1Q	9,516,000 株	25年6月期	9,516,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期1Q	42 株	25年6月期	— 株
----------	------	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期1Q	9,515,985 株	25年6月期1Q	9,514,000 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業的前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年7月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済、金融政策の効果により、企業業績の回復と雇用環境の改善がみられました。しかしながら、欧州債務問題や米国の財政問題は解消されておらず景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおいては、人材需要の旺盛な自動車関連企業及び業績が堅調な企業に対する積極的な営業活動を継続することで業容の拡大と収益率の向上をはかりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,009百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は256百万円（前年同期比111.0%増）、経常利益は266百万円（前年同期比99.7%増）となりました。四半期純利益は、160百万円（前年同期比110.2%増）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりです。

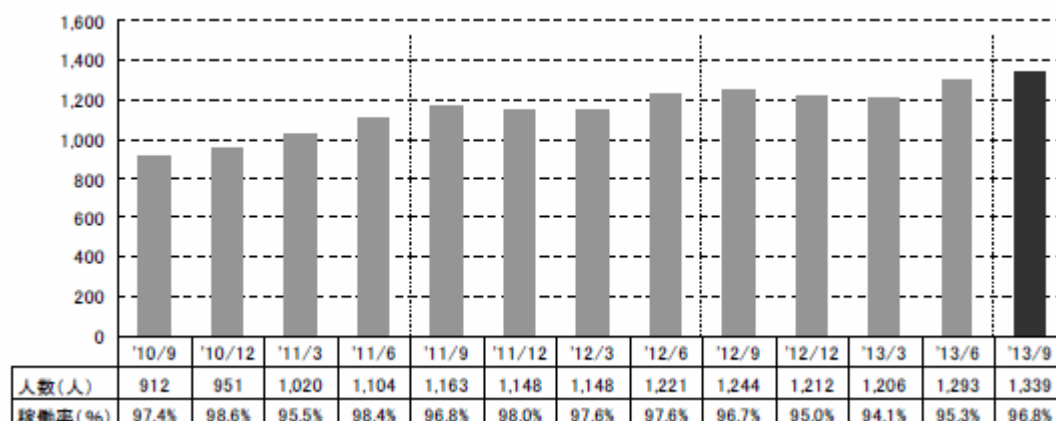
（技術者派遣・請負・委託事業：株式会社トラスト・テック、香港虎斯科技有限公司）

当セグメントは、研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託の事業を領域としております。

当第1四半期連結累計期間においては、人材需要の旺盛な輸送機器業界、特に自動車部品関連企業への積極的な営業提案による受注獲得により、売上高は2,166百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は203百万円（前年同期比75.0%増）となりました。

平成25年9月末日時点の当セグメントに従事する社員数は、前期末の1,293名から46名増加して1,339名（前年同期末比95名増加）となりました。

■ 技術者派遣・請負・委託事業の技術社員数の推移



※ 人数:月末技術者数 稼働率:月末日における「就業先がある技術者数」÷「技術者数」

なお、人数には当該セグメント売上計上分に対応したコンサルタント業務委託先の技術者数を含んでおります。

（製造請負・受託・派遣事業：株式会社T T M）

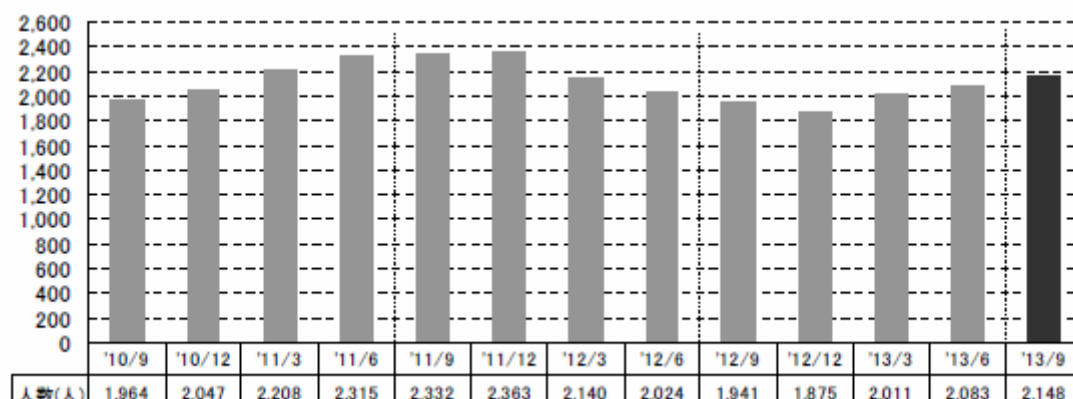
当セグメントは、顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業を領域としております。

当第1四半期連結累計期間においては、自動車関連や住宅関連企業への積極的な新規提案が奏功し、前連結会計年度の顧客企業の減産等に伴う売上高の減少の影響を吸収し増収に転じました。

また、セグメント利益は、請負の業務量の増加により利益率が向上したことに加え前年同期の半導体関連分野における顧客企業減産等に伴う一過性経費の影響が解消されたため、前年同期に比べ大幅な増益となりました。売上高は1,826百万円（前年同期比2.7%増）、セグメント利益は58百万円（前年同期比345.5%増）となりました。

平成25年9月末日時点の当セグメントに従事する社員数は、前期末の2,083名から65名増加して2,148名（前年同期末比207名増加）となりました。

■ 製造請負・受託・派遣事業の技能社員数の推移



※ 人数:月末技能労働者数

当セグメントは有期雇用契約が多数を占めるため稼働率は実質100%です。

(障がい者雇用促進事業：共生産業株式会社)

厚生労働大臣の許可を受けた当社グループの特例子会社である共生産業株式会社は、当社が神奈川県相模原市に保有する賃貸用不動産内のテナント事務所の清掃や地元企業からの軽作業などの業務を請負っています。

当該子会社は、障がい者と健常者が役割分担をしながら共に協力して働けるよう職場環境を整備し、障がい者の雇用促進に努めております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は7百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は0.6百万円（前年同期のセグメント利益0.2百万円）となりました。

(不動産賃貸事業：株式会社トラスト・テック)

神奈川県相模原市に保有する賃貸用不動産の入居率は、従前どおり高い水準を維持いたしました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は13百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は4百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産の残高は、3,988百万円(前連結会計年度末は4,487百万円)となり、499百万円減少いたしました。主たる変動項目は、現金及び預金（前連結会計年度末比416百万円減）、売掛金及び受取手形（前連結会計年度末比34百万円減）です。

固定資産の残高は、1,043百万円(前連結会計年度末は1,056百万円)となり、12百万円減少いたしました。主たる変動項目は、無形固定資産(前連結会計年度末比14百万円減)です。

この結果、資産合計は5,031百万円(前連結会計年度末は5,544百万円)となり、512百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債の残高は、1,635百万円(前連結会計年度末は2,019百万円)となり、384百万円減少いたしました。主たる変動項目は、未払費用(前連結会計年度末比450百万円減)、未払法人税等(前連結会計年度末比286百万円減)、賞与引当金(前連結会計年度末比139百万円増)、未払消費税等(前連結会計年度末比57百万円増)です。

固定負債の残高は、42百万円(前連結会計年度末は44百万円)となり、2百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は1,677百万円(前連結会計年度末は2,064百万円)となり、387百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は3,354百万円(前連結会計年度末は3,479百万円)となり、125百万円減少いたしました。

主たる変動要因は、四半期純利益(160百万円)及び期末配当金の支払い(285百万円)です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月9日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,175,813	1,759,008
受取手形及び売掛金	1,931,306	1,896,970
その他	380,268	332,096
流動資産合計	4,487,387	3,988,075
固定資産		
有形固定資産	192,051	191,028
無形固定資産		
その他	130,760	116,040
無形固定資産合計	130,760	116,040
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	590,960	589,286
その他	143,014	147,475
投資その他の資産合計	733,974	736,761
固定資産合計	1,056,786	1,043,829
資産合計	5,544,174	5,031,905
負債の部		
流動負債		
未払費用	1,327,719	877,659
未払法人税等	315,035	28,325
未払消費税等	119,450	176,791
賞与引当金	115,207	254,429
その他	142,201	297,841
流動負債合計	2,019,614	1,635,046
固定負債		
退職給付引当金	5,469	5,564
その他	39,299	36,504
固定負債合計	44,768	42,069
負債合計	2,064,383	1,677,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,476,890	1,476,890
資本剰余金	634,375	634,375
利益剰余金	1,373,176	1,248,047
自己株式	—	△32
株主資本合計	3,484,442	3,359,280
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,651	△4,490
その他の包括利益累計額合計	△4,651	△4,490
純資産合計	3,479,790	3,354,789
負債純資産合計	5,544,174	5,031,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,715,266	4,009,161
売上原価	2,939,899	3,055,760
売上総利益	775,366	953,401
販売費及び一般管理費	653,791	696,877
営業利益	121,575	256,524
営業外収益		
受取利息	130	175
助成金収入	12,720	9,652
その他	475	1,222
営業外収益合計	13,325	11,050
営業外費用		
支払利息	92	81
為替差損	1,227	625
その他	1	79
営業外費用合計	1,321	786
経常利益	133,580	266,788
特別損失		
固定資産売却損	120	—
固定資産除却損	32	—
特別損失合計	153	—
税金等調整前四半期純利益	133,426	266,788
法人税、住民税及び事業税	77,415	46,976
法人税等調整額	△20,257	59,460
法人税等合計	57,157	106,436
少数株主損益調整前四半期純利益	76,269	160,351
四半期純利益	76,269	160,351

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76,269	160,351
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	940	160
その他の包括利益合計	940	160
四半期包括利益	77,209	160,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,209	160,511

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,920,890	1,779,332	2,067	12,975	3,715,266	—	3,715,266
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	5,475	508	5,983	△5,983	—
計	1,920,890	1,779,332	7,542	13,483	3,721,249	△5,983	3,715,266
セグメント利益	116,517	13,055	218	3,788	133,580	—	133,580

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,166,979	1,826,892	2,054	13,235	4,009,161	—	4,009,161
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	5,405	462	5,867	△5,867	—
計	2,166,979	1,826,892	7,459	13,697	4,015,029	△5,867	4,009,161
セグメント利益	203,881	58,164	648	4,093	266,788	—	266,788

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。